

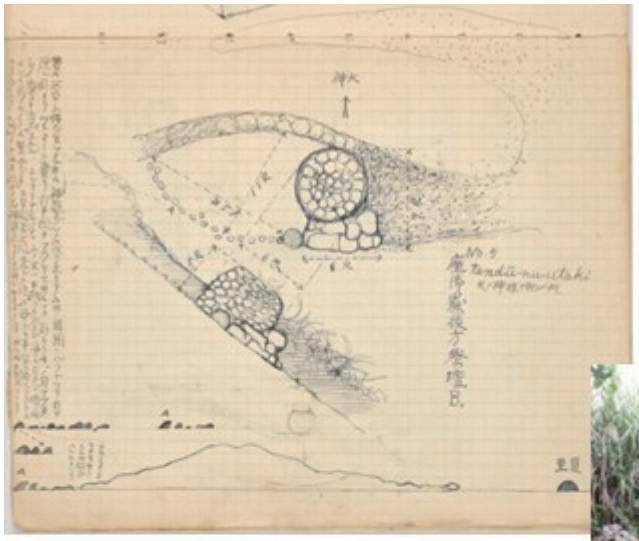
鎌倉の狩俣

鎌倉芳太郎の宮古島狩俣調査100周年展

2026年
12/15火～12/27日

主催　沖縄県立博物館・美術館
企画 石井龍太(武蔵大学人文学部 日本・東アジア文化学科教授)
お問い合わせ　090-6139-2960　ryota.ishii@cc.musashi.ac.jp

沖縄県立博物館・美術館 エントランス展示



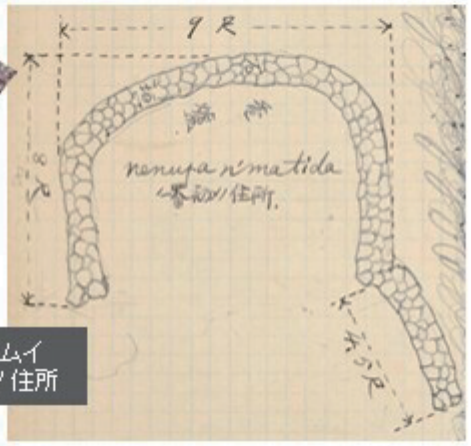
「首里城を救った男」として知られる鎌倉芳太郎は、それに留まらず琉球への多面的なかかわり方をした人物でもあった。集落研究もその一つである。鎌倉は1927年に宮古島狩俣集落を訪れ、ガラス乾板による写真と調査ノートを残した。近代期の琉球集落のあり方、特に聖域に関する貴重なデータとなっている。

本展示は、鎌倉の狩俣来訪から100周年となる2027年を前に、鎌倉が残した貴重な調査データを振り返りつつ、最新の研究成果を紹介し、次の100年に資することを目的とする。

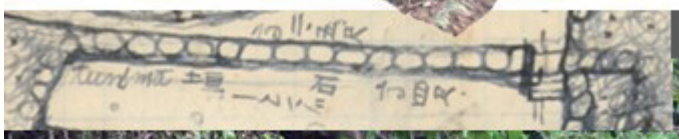


ティンドゥ





東のフンムイ
一番初メノ住所



マイパナダ

主催　沖縄県立博物館・美術館
企画　石井龍太(武蔵大学人文学部日本・東アジア文化学科教授)
お問い合わせ　☎ 090-6139-2960　ryota.ishii@cc.musashi.ac.jp
会期　2026年12/15火～12/27日
会場　沖縄県立博物館・美術館エントランス展示
〒900-0006 沖縄県那覇市おもろまち3-1
火-水・木・日 9:00-18:00　金・土 9:00-20:00

ギャラリートーク（40分）
※各回30分前から予約を受け付けます。

2026年12/15火 13:00,15:00
2026年12/27日 10:00,13:00,15:00